

平成29年度 学校自己評価表

I 教育方針	教育基本法および学校教育法に基づき、民主的・平和的国家および社会の形成者としての人格の完成をめざし有為な人材を育成する。 [重点目標] 1 健全な心身と豊かな情操を養う。 2 自主・自立の精神を養い、個性の伸長に努め自己表現の資質を高める。 3 自らの将来を主体的に切り拓く力を養う。
II 中・長期目標	地域に根ざした活力ある学校づくりを行う。
III 今年度の重点目標	① 生徒を真ん中に置いた指導や支援に努め、生徒の自立と社会性の伸長を図る。 ② 「授業は命」を合い言葉に、授業の質の向上を図り、学力の定着、向上をめざす。 ③ 人権・生命を尊重し、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりをすすめる。 ④ 地域・保護者と連携し、信頼される魅力ある学校づくりをすすめる。

領域	対象	重点目標	評価項目	具体的目標および評価の観点	評価方法 (外部評価)
教育活動	学習指導	① ②	① 基本的学習習慣の確立	1 生徒に学習意欲を喚起することができたか。	4段階評価
			② わかる授業の実践	2 生徒の状況に応じて個別指導や学習支援ができたか。	4段階評価
			②	1 少人数を生かした授業を展開できているか。	4段階評価
	進路指導	①	① 進路意識の形成	1 進路ガイダンスを効果的に設定できたか。	4段階評価
				2 就業体験を通して将来の進路意識を高めることができたか。	4段階評価
			① 希望進路の実現	1 コース制を生かした進路実現が図られたか。	4段階評価
			2 生徒の目的意識を明確にし、納得のゆく進路選択が図られるよう進路相談を行うことができたか。	4段階評価	
	生徒指導	① ③	① 基本的生活習慣の確立	1 日常的な啓発活動ができたか。	4段階評価
				2 家庭と連携して指導できたか。	4段階評価
		① ③	① 問題行動への対応	1 問題行動に適切に対処し、校則を守る意識の向上が図られたか。	4段階評価
				2 人権に配慮し、生徒にとって居心地のよい雰囲気を作れたか。	4段階評価
	①	① 生徒支援の充実	1 「スクールカウンセラーモデル事業」を有効に活用し、社会的自立を目指した生徒への支援を行うことができたか。	4段階評価	
特別活動	① ③	① 生徒の自主活動の促進	1 生徒会活動を通じ、生徒の自主性を育むことができたか。	4段階評価	
			① クラブ活動の活性化	1 既存のクラブ活動を活性化させるとともに、生徒の自主的な活動を支援できたか。	4段階評価
学校運営	教育課程	① ④	① 将来に向けての教育課程の検討	1 本校の現状に即して、選択科目の見直しを含めた教育課程を検討することができたか。	4段階評価
			① 個に応じた選択科目の設定	1 個々の生徒の進路希望に応じた選択科目を設定できたか。	4段階評価
				2 生徒の希望する進路に応じた指導はできたか。	4段階評価
	① ②	① コース制授業の充実	1 これまでの授業内容を一層充実させ、生徒が満足できるように指導できたか。	4段階評価	
地域との連携			① ④	① 開かれた学校づくり	1 授業公開を行い、多くの方に参加していただくことができたか。
		2 地域と共同しながら行事等を行うことができたか。		4段階評価	
		3 地域への広報活動は十分であったか。		4段階評価	
	④ 将来に向けての本校のあり方について	1 地域の要望を聞きながら、よりよい学校づくりをすすめることができたか。	4段階評価		
		2 地元中学校からの進学者の増加を目指し、本校についての理解を深めてもらえるよう、積極的に働きかけることができたか。	4段階評価		

※ 評価の方法および公表

(1) 内部(自己)評価 1月中に全職員が4段階評価で行う。

A 十分 B おおむね十分 C やや不十分 D 不十分

(2) 外部(学校関係者)評価 第2回学校評議員会(3月)(学校評議員) 1月30日(月)(PTA理事会)

(3) 学校評価(総括): 内部評価と外部評価を総括し、改善点を明らかにする。

(4) 総括された学校評価を職員会で協議し、来年度の改善に結びつける。

(5) 結果の公表